

令和7年第6回教育委員会議 議事録

日 時	令和7年6月25日（水） 9時10分～10時00分			
場 所	阿久比町役場 会議室101			
出席委員	教 育 長 竹内 淳		職務代理者 稲葉 清仁	
	委 員 竹内 比名子		委 員 古川 千歩	
欠席委員	委 員 竹内 賢司			
出 席 員 職 員	教 育 部 長 大岩 峰雄		社会教育課長 國嶋 慎	
	指 導 主 事 小浦 正寛		指 導 主 事 入江 直人	
	民 生 部 長 大久保 英俊		児童保育課長 山内 秀明	
	児童保育課幼児保育係長 小高 綾			
作 成 者	庶 務 係 長 宝 紗 瑛			

1 前回教育委員会議議事録承認

2 教育長報告

3 議事

- (1) 阿久比町立幼保連携型認定こども園の設置について
- (2) 阿久比町教育支援委員会設置要綱について
- (3) 阿久比町学習用情報機器の貸与に関する取扱要綱について
- (4) 阿久比等通学路交通安全対策会議設置要綱について
- (5) 阿久比町地区公民館等建設事業費補助金交付要綱について
- (6) その他

4 報告及び連絡事項

- (1) 教育委員会会議行事予定について
- (2) その他
 - ・工事請負契約の締結について
 - ・後援名義許可申請について

【令和7年6月25日（水）教育委員会会議議事録】

1 前回教育委員会会議議事録承認

2 教育長報告

（竹内教育長）

- 6月議会が先日終了した。4人が教育に関する質問をした。1つ目はスポーツ村の今後について、2つ目は阿久比中学校が大規模校になっていることについての課題と対策について、3つ目は南部小のプール授業について、4つ目は阿久比中学校体育館空調設備について。

阿久比中学校体育館の空調は工事が完了し、授業や部活動で使用を始めている。明日には1年生が広島から語り部が来て話を聞く機会が予定されており、空調の効いた環境で実施することとなりよかったと思う。部長や関係職員が実際に行ったところ、かなり涼しいとのこと。小学校の体育館にも早めに付けたい。

阿久比中学校の大規模化については、30を超える学級数があると、問題も多く起きること、細かな指導ができなくなること、教員の対応が手薄になるとの懸念が指摘されているが、10年前から動向を想定しており、そのために校舎を増設する等の対応をしてきた。令和9年に1,150人ほどで最多となる見込みだが、それを境とし、5年後には約900人台に、10年後には更に減少する見込み。東部小学校や英比小学校はかつては1,000人近い児童数だったが、今は東部が720人、英比が780人程で、来年度は東部はさらに減って600人台になっていく状況の中で、中学校も今後減少傾向になるので、大きな問題はないと考えている。

南部小のプールについて、順調に進んでいるが、色々な課題も見えてきている。まずはバスの乗り降りする場所の問題。他には、プールの高さ調節のために敷いたプールフロアが、沢山の子どもが一度に入ることによって水流が生まれ、ずれて動いてしまうことがある。その度にスポーツ系の職員が潜って調整し直している。ずれが起きたまま授業を行い、子どもが指を挟んで事故が起きることはあってはならないため、慎重に対応していかなければいけない。

- 7月18日に終業式があり、いよいよ夏休みを迎える。中学校では期末テストが終わり、ちょうど今東部小と阿久比中が修学旅行に行っている。昨日は雨が強かったが、今日は晴れてよかった。後は懇談会があり、夏休みに向けて準備を進めていく。

3 議 事

(1) 阿久比町立幼保連携型認定こども園の設置についての関係について

(山内児童保育課長)

議事についての説明の前に報告。

- ・愛知県主催の申請説明会に出席したところ、幼保連携型とする場合には宮津保育園の園舎について、建築基準法上の基準を満たさない建物であることが判明した。
- ・幼保連携型で2階に保育室を設ける場合は園舎が耐火建築物であることが求められるが、宮津保育園は準耐火建築物であるため、耐火建築物への工事が求められる。
- ・まだ正式に決まってはいるないが、費用、工事期間を考えると、保育所型に方向修正することも考えられる。

幼保連携型認定こども園の設置について説明。

- ・阿久比町立幼保連携型認定こども園に係る教育委員会の意見聴取に関する規則が6月11日に公布されたため、法令に基づく意見聴取を行う。
- ・令和9年度末のほくぶ幼稚園廃園に伴い、幼稚園希望者の受け入れ先を確保するため、その移行対象園として、園全体の定員を維持しつつ、幼稚園枠の定員を確保できる園として、宮津保育園を選定した。
- ・名称は町立宮津こども園、現時点では仮称で、12月の議会の定例会にて条例を提出して、正式に決定となる。住所は陽なたの丘一丁目9番地、園児定員は260名で、現在の宮津保育園の定員と同じ。
- ・子育て支援事業として、一時預かり保育、なかよし広場、育児相談を実施する。

(稲葉職務代理者)

前段の報告と、今の説明が噛み合っていない、同じことを言っていないようで理解ができない。

(大久保民生部長)

こども園には4類型あり、幼保連携型、保育所型、幼稚園型、地域型とある。幼保連携型は法律上は学校と児童福祉施設両方の施設、保育所型は児童福祉施設という位置付けとなり、保育所の中で保育園枠に該当する子を受け入れ、余っている枠の中で幼稚園枠を受け入れるという形になるため、260名の定員の中に保育園枠と幼稚園枠を分けて設定するという考え方ではない。宮津保育園の今年の定員が260名に対して園児数が99名のため、十分に受け入れられる体制は整っていると考えている。

幼保連携型であれば教育委員会の意見が意見聴取が必要だが、保育園型では必要ない。そのため、幼保連携型になった場合の意見を伺うという立場で説明をしている。

(稲葉職務代理者)

保育園枠の希望者増加によりその定員枠が増えた時に、幼稚園枠を確保できないということ

か。

(大久保民生部長)

その場合もあり得るが、町内で他の園と入園調整するので、実際には確保できないことはないように調整をする。

(稲葉職務代理者)

中に入ってしまうと、こども園として機能をするという理解でよいのか。

(大久保民生部長)

仰る通りで、教育と保育の両方を実施する。

(古川委員)

工事を行って予定通り幼保連携型で進めるのか、保育所型に方向転換するのか、現時点での見通しは。7月の見学会で説明ができるようにしなくてはいけないのではないのか。

(山内児童保育課長)

まだ結論は出ていない。先週判明したばかりであり、どのような工事になるのか設計事務所や知多建設事務所に相談に行く予定をしている。現実的に可能な選択をすることになる。

上記について、決議。全会一致で可決。

(2) 阿久比町教育支援委員会設置要綱について

(大岩教育部長)

変更内容について説明。

- ・ 特別支援学校や特別支援学級への就学や入級について協議する場。
- ・ 医師や学校関係者、町教育委員会等で構成され、年1回会議を開催している。
- ・ 対象者が増加しているため、円滑に会議を進められるよう、事前調整の場を設ける。

(3) 阿久比町学習用情報機器の貸与に関する取扱要綱について

(大岩教育部長)

変更内容について説明。

- ・ タブレット端末の持ち帰りを推進するにあたり、インターネット環境がない家庭に対し、町保有のポケット Wi-Fi の貸し出しを行う。
- ・ 今までは就学援助を受けている家庭のみが対象だったが、全家庭に対象を広げる。

(4) 阿久比町通学路交通安全対策会議設置要綱について

(大岩教育部長)

変更内容について説明。

- ・通学路の安全対策、交通安全の確保について協議をする場。
- ・機構改革により課名が変更になった。

(5) 阿久比町地区公民館等建設事業費補助金交付要綱について

(國嶋社会教育課長)

変更内容について説明。

- ・物価高騰により、補助基準額を100万円ずつ増額する。

上記(2)～(5)について、決議。全会一致で可決。

(3) その他

(稲葉職務代理者)

教育委員就任時に前任者から教育委員会の例規を取りまとめたものを引き継いだ但、最新の状態ではない。

(大岩教育部長)

どこかのタイミングで整備する。

4 報告及び連絡事項

(1) 教育委員会会議行事予定について

(大岩教育部長)

令和7年8月末までの教育委員会行事予定について説明。

- ・7月の教育委員会会議終了後、阿久比中学校体育館空調の視察を予定したい。

(2) その他

- ・工事請負契約の締結について

(國嶋社会教育課長)

契約の締結について説明。

- ・後援名義許可申請について

(宝庶務係長)

後援名義許可申請について説明。

- ・後援名義許可申請があったが、安全性の確保に疑義があり、専決委任できる場合に当たらないため、教育委員会の意見を伺うもの。

(稲葉職務代理者)

- ・事業自体が教育委員会が後援なしでは成り立たないものではなく、許可の可否については慎重に、消極的であるべきだと思う。
- ・非日常での不測の事態は皆が予想できないものであり、何かあったときに誰が責任を取るのか。非日常のことはより慎重に判断すべき。

(古川委員)

- ・消極的であるべき、という意見に同意。
- ・保護者としては安心、安全が確保されているかが重要。不安要素が残るのであれば、許可しないという考えもある。

(小浦指導主事)

- ・今回は対象者は5・6年生で離島でキャンプという内容だったため、学校行事と類似した内容であり許可を出しているが、今回は対象者が3年生からという点も気になる。

(大岩教育部長)

委員の意見を聞き、許可は出さない方向で事務を進める。